

（「広報うつのみや」（昭和25年4月1日発行）の中から、昭和を感じさせる懐かしい記事をご紹介します。）



（一口メモ） 「宇都宮タコあげ大会」は、昭和40年1月17日に、市営宮原球場（公園）で第1回が開催されました。参加者は、小・中学生合わせて618人でした。記事は第3回大会の様式ですが、これ以降は、地区ごとの開催になり、現在まで続いている地区もあります。

昭和の記憶

～あんとキの記事から～



第3回 宇都宮タコあげ大会 （広報うつのみや昭和42年3月15日号）

子どもたちが戸外で行う健康的な娯楽の奨励の1つとして、宇都宮市青少年育成協議会が、市消防本部、同選挙管理委員会などの協力を得て、2月19日に、宮原公園で「タコあげ大会」を行いました。

参加者は、小、中学生あわせて255チーム（1チーム3人編成）で、篠井地区をはじめ、遠いところからバスで乗りつけるチームがたくさんありました。

「タコ」には、明るく正しい選挙、防火に関する文字や絵を入れることになっていましたので、各人趣向をこらして持参しました。

暮らしと交通のいい関係



今回は、LRTの運行を担う営業主体について紹介します。

質問 LRTの営業主体は、どのような事業者が担うの？

答え LRTの営業主体には、事業の確実性・継続性の確保、民間ノウハウの活用などととも、安全輸送の実現といった軌道事業の技術・経験が必要であることから、国内の軌道事業者や複数の民間事業者による新会社などを想定しています。

■求められる要件

本市のLRT事業は、公共（整備主体）が軌道（レール）や停留場などの施設や車両などを整備・保



▲「公設型上下分離方式」のイメージ図

有し、民間事業者が運行や日常の維持管理を担う「公設型上下分離方式」を採用します。

LRTの運行を担う営業主体には、安全で確実な輸送の実現や、本市が進める公共交通ネットワークの構築への十分な理解を前提に、次のような要件が求められます。

①民間ノウハウの活用 公共交通ネットワークの中心を担うLRTには、運行頻度や料金設定などの利用者ニーズを重視した運行サービスが求められます。このため、営業主体は、軌道事業や関連事業に関する民間ノウハウを

最大限に活用し、より効率的な運営を行いながら、良質なサービスを継続して提供していくことが必要となります。

②軌道事業の技術・経験 10年以上の軌道事業経験を有する管理者および、車両や施設・設備などに精通した技術職員の確保が必要となります。

③運転士の確保 既存の軌道事業者が有する養成所での研修を経て運転免許を取得した運転士56人程度（これまでの検討における試算）を開業前までに確保することが必要となります。

■組織形態 求められる要件を踏まえると、営業主体には、既存の軌道事業者の参画や技術協力などが必須であると考えられることから、下の表のような組織形態が想定されます。

	①民間公共交通事業者(単独)	②複数の民間事業者による新会社設立	③官民連携による新会社設立
組織形態	民間	民間/民間	民間/行政
	既存の民間公共交通事業者(単独)による形態	既存の民間公共交通事業者と民間企業などが参画する形態	民間と行政が参画する形態
	既存の軌道事業者または軌道事業者の協力を得た事業者を想定	軌道事業者の参画または協力を得た事業者群を想定	①または②の組織形態と行政との連携を想定

■今後の取り組み 営業主体の確保にあたっては、国内で路面電車を運行している民間の軌道事業者14社や地元の公共交通事業者に対して、本市のLRT事業への参画意向調査を、これまでに実施しました。

今後は、調査結果などを踏まえながら、本市のLRT事業に最も適した組織形態の検討を進め、できるだけ早い時期に営業主体を確保していきたいと考えています。

☎LRT整備推進室 ☎(632)2304

◎夜間飛行訓練（予定）▽期日 2月3～5・10・12・17～19・24～26日。訓練時刻は午後9時ごろまでを予定していますが、天候などにより実施日・終了時刻を変更することがあります▽内容 観測ヘリ・多用途ヘリ・連絡偵察機・練習ヘリコプターの訓練。☎北宇都宮駐屯地 ☎(658)2151

◎ありがとうございました（敬称略）■ぎんなん基金へ▽なかよし善行ネットワーク▽石井地区自治会連合会▽横川地区民生委員・児童委員協議会▽米・米楽しく唄おう会。☎市社会福祉協議会 ☎(636)1215